

第2回ワイズ・ナイトフォーラム開催報告

Change/2022 推進委員会 栗本治郎

10月24日(日)20時より第2回 ワイズ・ナイトフォーラムがZoomで開催され、参加者は76名で一般参加者は10数名でした。

大久保理事によるワイズ紹介とご挨拶に続き、第1部の卓話は、利根川恵子さん(川越クラブ)による『TOKYOオリンピックにボランティアとして参加して』の講演で、日本人の稲見萌音さんが銀メダルを取ったゴルフ競技でのフィールドキャストでの裏話をさせていただきました。

第2部のパネル・ディスカッションは、北海道の『チミケップキャンプ場の奉仕活動』について、ファシリテーター山下さん、パネラー二本松さん、伏木さん、小林YMCA主事によるチミケップキャンプ場の歴史や奉仕活動、今後の問題点などのディスカッションが行われました。



10月例会報告 会報委員会

コロナが神がかり的に沈静化し、10月例会はKKRホテルで通常で開催されました。

DBCの京都パレスクラブから熱海伊豆山地区土石流災害の義援金を届けに後藤会長と福井交流委員長が例会に出席され、義援金10万円を熱海クラブに託されました。後藤会長からは、パレス50周年記念例会(2022年5月7日開催)のPRと共に、両クラブのDBC締結の歴史やパレスの現在の活動状況がパワーポイントを使い説明されました。なお、Zoomで京都パレスから10数名が参加されました。

メンバーによる3分間スピーチでは、大川ワイズが北海道に行った時の大怪我の話(裏話なし)とワイズ紹介サイトについて、青木ワイズは大好きな海外旅行の話、最古参の室伏ワイズは熱海ワイズの歴史、山田(修)ワイズはご自身の波乱万丈の経験をお話し頂きました。皆さん3分間では話さきれない内容で、今回はタププリ時間をとってお聞きしたいと思いました。

例会後は久しぶりに二次会も開催されました。



11月強調月間 ASF・IGo・STEP

ASF = Alexander Scholarship Fund

ワイズメンズクラブ創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーを記念して設置された国際協会の基金。将来 YMCA 主事になろうとする青年への財的援助を主たる目的に設置された。現在では、YMCA スタッフのトレーニングや YMCA の財政的支援などにも用いられている。東日本区では CS 資金と合わせて「CS・Y サ・ASF 資金」として運営し、地域社会奉仕事業、YMCA サービス事業、および YMCA が行う主事研修等に用いられている。毎年区内で集められた CS 献金、ASF 献金の合計の一定の割合が国際協会に ASF 献金として送金されている。

IGo = Internship for Global outreach

青年の成長を目的として、YMCA やワイズメンズクラブ会員で事業を行っている者が、ユースに国際的なインターン(職業体験)の場を提供するプログラム。申請時に18歳から29歳の者が対象。2020-21年度に廃止された YEEP の継続プログラムです。

STEP = Short Term Youth Exchange Program

ユース海外短期交流プログラム。3 ~ 11 週間の短期海外訪問制度。18歳から25歳のワイズの子弟(または、3年以上、ワイズメンズクラブ、ワイズユースクラブ、YMCA の何れかの会員経験を有する者)が応募対象者。海外のワイズ家庭に滞在し、現地のユースとの交流や異文化を体験する。応募は、希望派遣期間の半年以上前に、クラブを通じて、ユース事業主任へ申請書類を提出する。

2020-2021年度 国際協会表彰

エルマー・クロー賞

あずさ部部长 御園生好子さん

チャレンジ22賞(会員増強)

あずさ部 甲府21クラブ

チャレンジ賞(新クラブスポンサー)

関東東部 千葉クラブ

ブースター賞(入会6人以上)

甲府21クラブ

ブースターメンバー賞(入会3人以上)

甲府21クラブ 宮岡宏実さん
千葉ウエストクラブ 高田一彦さん

地域奉仕賞

富士五湖クラブ
富士五湖クラブの優れたプロジェクトに、「社会奉仕賞認定証」が発行されました。